

「アートと環境の未来・山口」
「YCAM 10周年記念祭」

事業概要 (詳細)

平成 25 年 5 月
YCAM10周年記念祭実行委員会

1

開催趣旨

はじめに	1
コンセプト	2
特徴・目的	2
ロゴ	3

2

開催概要

正式名称	4
会期	4
会場	4
アクセス	5
実施体制	6
助成・協賛	6

3

事業内容

メディア教育のための教育普及事業	7
国際グループ展の開催と坂本氏を中心としてプロジェクト	..	9
舞台芸術作品の公演、身体表現プロジェクト	12
国際コンペティションと街中での展示	15
映画上映と上映イベント	18
国際シンポジウム、YCAMオリジナルイベント	21
その他	23

4

スケジュール	24
--------	-------	----

はじめに

山口情報芸術センター〔YCAM〕は、展示スペース、劇場、ミニシアター、市立中央図書館を併設する複合文化施設として、2003年11月に開館しました。

YCAM InterLabを中心に独自の制作体制を持つYCAMは、メディアテクノロジーと身体を巡る新しい芸術表現を生み出すためのプラットフォームとして、地域と世界を結び、アート／メディア／身体表現の領域を拓ける創造と発信拠点となりました。

それと同時に、想像力と思考を育成する取り組みを通じたメディア教育の実践として、優れた才能と国際的ネットワークが構築される交流の場としても実績を重ねてきました。

YCAM10周年記念祭では、YCAMのこれまでの取り組みを振り返るとともに、山口市民の皆様とのより深い関わりのもとに市内各所にも活動を展開しながら、開館以来取り組んできた創造的実践の数々を土台に、進化するアートセンターを予感させる、次なる展開を目指します。

1 開催趣旨



コンセプト

YCAM10周年記念祭では、「アート」「環境」「ライフ」といった概念を中核に、刻々と変化するこの世界を、より深い共感を持って読み解き、知覚しながら、共に想像／創造する環境へと一歩踏み出します。

開館以来YCAMの活動の軸となってきたメディアテクノロジーの可能性を踏まえながら、我々の過去と未来、自然世界と都市文化を、想像／創造力で繋げていく試みをさまざまな芸術形態で表現します。

特徴・目的



メディア教育の普及

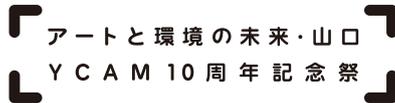
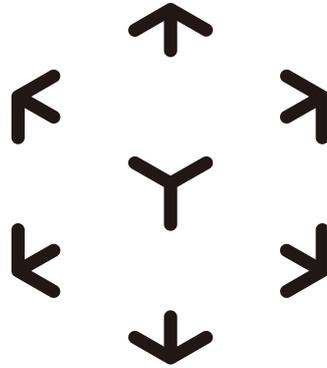


国際ネットワークの形成



観光交流の促進と、地域の活性化

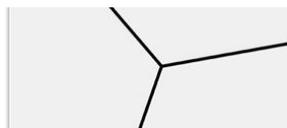
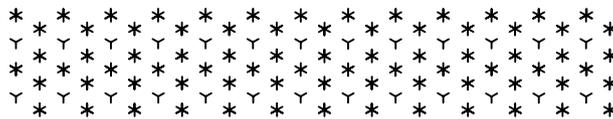
ロゴ



YCAMの象徴であるYを中心に6つの矢印があります。見方によっては立方体にも見えるロゴです。このロゴはどんどん変化することができます。矢印のベクトルが強ければ空間を広げることができるし同じ立方体と組み合わせて繋げることができます。

YCAMが山口にできて10年。展覧会やワークショップなどひとつずつ想いをもちながら取り組み、地元と繋がってきました。このロゴの矢印が想いの力だったとしたら広がったり繋がったりする姿はしあわせなカタチです。そのしあわせなカタチが山口という場所でいろいろ実現するととても魅力的だと想いながらデザインしました。

ロゴマークデザイン 柿木原政広



正式名称

日本語：

アートと環境の未来・山口 YCAM10周年記念祭

英語：

Yamaguchi – Art and Environment for Tomorrow / YCAM 10th Anniversary

会期

第1期：平成 25 年 7 月 6 日（土）～ 9 月 1 日（日） 50日間

第2期：平成 25 年 11 月 1 日（金）～ 12 月 1 日（日） 27日間

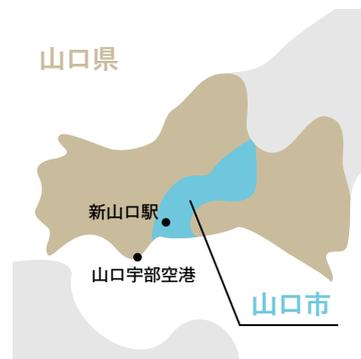
※ 火曜休館・閉場 祝日の場合は翌日（10月22日（火）のみYCAM 開館）

2

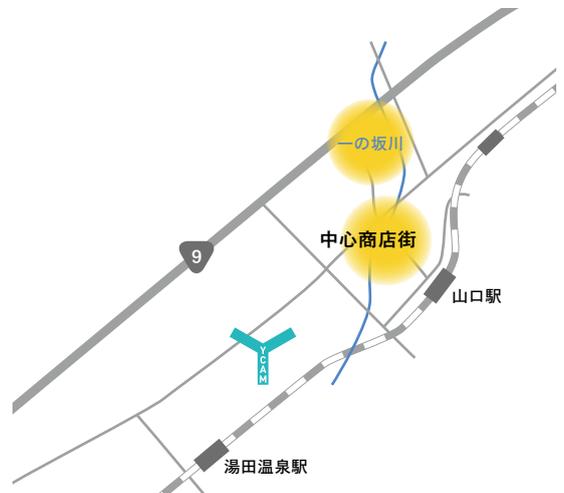
開催概要

会場

山口情報芸術センター [YCAM]、山口市中央公園
市内（山口市中心商店街、一の坂川周辺、野田神社）



飛行機：山口宇部空港よりバスで 50 分
新幹線：新山口駅より電車で 20 分



アクセス



飛行機で

山口宇部空港まで
山口宇部空港から

東京・羽田空港から1時間30分

空港連絡バスでJR新山口駅まで20分

空港連絡バスで情報芸術センター前まで約1時間

乗合タクシー「空港エクスプレス」でYCAMまで約1時間

※前日18:00までの予約制 大隅タクシー TEL: 0120-31-0860



新幹線で

JR新山口駅まで(新幹線のぞみ利用)

東京から約4時間30分

新大阪から約2時間

広島から約30分

博多から約35分

鹿児島中央から約2時間

JR新山口駅から

防長バス/JRバス 約30分、情報芸術センター前(中園町)下車すぐ

JR山口線、湯田温泉駅下車(18分)のち徒歩25分/タクシー5分

JR山口駅、山口駅下車(21分)のち徒歩25分/バス10分/タクシー5分



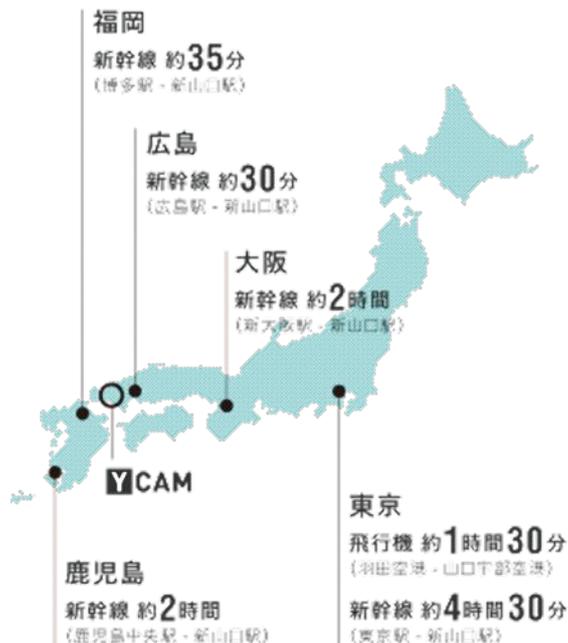
車で

広島から

山陽自動車道で約1時間30分、防府東ICから30分

福岡から

九州・中国自動車道で約2時間、小郡ICから25分



実施体制

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

〈YCAM10周年記念祭実行委員会〉

名誉会長：山口市長 渡辺 純忠

会長：山口市文化振興財団理事長 中野 勉

副会長：山口市副市長 吉田 正治

副会長：山口市教育長 岩城 精二

アーティスティック・ディレクター：坂本 龍一

総合プロデューサー：阿部 一直（山口情報芸術センター副館長）

助成

平成 25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ、

平成 25年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業、平成 25年度 財団法人自治総合センター、

平成 25年度 ポーラ美術振興財団、平成 25年度 財団法人花王・科学財団、

平成 25年度 資生堂

特別協賛

カラーキネティクス・ジャパン(株)、積水ハウス(株)、(株)豆子郎、日本航空(株) (JAL)、

ヤマハサウンドシステム(株) 大阪営業所、(株)エフエム山口、(株)サンデー山口、

(株)地域情報新聞ほっぷ、テレビ山口(株)、山口朝日放送(株)、山口ケーブルビジョン(株)

協賛

(株)オオバクリエイティブ、オーカ装置工業(株)、カヤバシステムマシナリー(株)、警備開発(株)、

三建設備工業(株)、中国支店、(株)JTB 中国四国山口支店、(株)中電工、

パナソニックシステムネットワークス株式会社システムソリューションズジャパンカンパニー中国社、

丸茂電機(株)、山口システム通信(株)、山口商工会議所、(株)リンクステーション、(株)技工団、

倉増電気管理事務所、(株)文栄堂、(株)星電業社、防長交通(株)、(株)三宅商事、(株)モリイケ、

山口大学生生活協同組合、(株)山口明屋書店

後援

山口市教育委員会、山口観光コンベンション協会、山口市商店街連合会、山口青年会議所、

湯田温泉旅館協同組合、山口県観光連盟、大阪ドイツ文化センター、朝日新聞社、

NHK 山口放送局、共同通信社、産経新聞社、時事通信社山口支局、中国新聞防長本社、

日本経済新聞社山口支局、毎日新聞社、山口新聞社、読売新聞社

協力

commons、kab,Inc.、一般社団法人モア・トゥリーズ

メディア教育のための教育普及事業

参加型作品 / インスタレーション

子どもたちが創造する屋外メディア公園 「コロガルパビリオン」

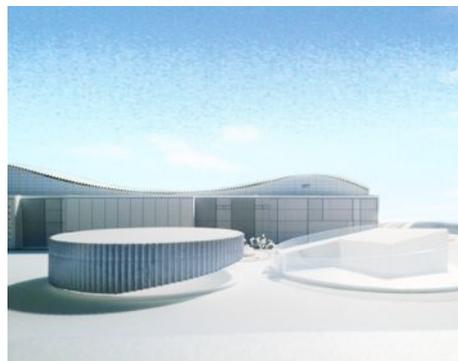
日時：7月26日(金)～12月1日(日)〈火曜除く〉
10:00～18:00

会場：山口市中央公園

料金：無料

※ 8月19日(月)～21日(水)、9月17日(火)～19日(木)は、「子どもあそびばミーティング」アップデートによる工事期間のため閉鎖。

※ 10月22日(火)は開場



「コロガルパビリオン」完成予定図
(パビリオン設計：assistant)

2012年にYCAMで展示され、子どもたちから人気を集めた「コロガル公園」が、建築ユニットassistantの手によって半屋外型パビリオンとなって登場します。公園内の起伏のある床には、スピーカーやマイク、LED照明など様々な「メディア」を使った仕掛けが埋め込まれており、子どもたちは、それらを使って新しい遊びのルールを生み出していくことができます。これらの仕掛けや公園内の様々なメディアと遊びながら自然に触れることで、子どもたちが自分の体とメディアを結びつけて考える機会を創出します。

3 事業内容

◎ 関連イベント

「子どもあそびばミーティング」

日時：8月18日(日) 14:00～15:30
9月16日(月・祝) 14:00～15:30

会場：山口市中央公園内「コロガルパビリオン」

料金：無料(要申込、先着順)

対象：小・中学生

定員：各回20名

申込受付開始：8月4日(日)

※ 13:00～16:00は、ミーティング参加者以外入場不可



「子どもあそびばミーティング」の様子(2012)

子どもあそびばミーティングでは、コロガルパビリオンで遊ぶ子どもたちが、YCAM InterLabのスタッフと共に、パビリオンに追加したい遊びや機能を話し合います。このミーティングで採用されたアイデアは、その後のアップデートを経て、パビリオンに新しい機能として追加されます。

ワークショップ

「YCAM サマースクール」

日時：7月20日(土)～9月29日(日)〈火曜除く〉 13:00～19:00

会場：YCAMワークスペース

料金：無料（一部材料費は自己負担）



「tecpot」の様子（2012）

2011年よりYCAM館内に登場した、メディア工房「tecpot（テックポット）」では、単なる機材の使い方を学ぶだけでなく、メディアテクノロジーと日常生活との接点を考えるための想像力を刺激するようなプログラムが用意されました。2013年は、この工房機能を拡大し、木材やアクリルなどの物理的な工作も扱えるようにすることで、パーソナルファブリケーション（工業の個人化）という新しいものづくりの動きによる創作支援を開始します。また、サマースクールでは県内外からインターンを受け入れ、YCAM独自の教育普及活動を通じた人材育成の場としても機能します。

作品展示 / インスタレーション

ウォーキング・アラウンド・サラウンド

「walking around surround」インスタレーション

日時：11月1日(金)～12月1日(日)〈火曜除く〉 13:00～18:00

会場：はりはり(山口県山口市道場門前 2-3-8)

料金：無料



「walking around surround 山口の音に耳を傾ける」
フィールド・レコーディングの様子（2012）

YCAM10周年記念祭イベントとして、2012年夏にYCAMが開催した、音を聴くことを体験的に学ぶことができるワークショップ「walking around surround」を、サウンドインスタレーションとして展開します。山口市の小学生とともに、市内の街中、山間、海沿いに加えて新たに数カ所の音をフィールドレコーディングし、集めた音源＝サウンドスケープ（音の風景）を自由に入れ替えることが可能なワイヤレススピーカーを用いて街中で展示します。

国際グループ展の開催と坂本氏を中心としたプロジェクト

作品展示 / インスタレーション

国際グループ展

アート・アンド・コレクティブ・インテリジェンス

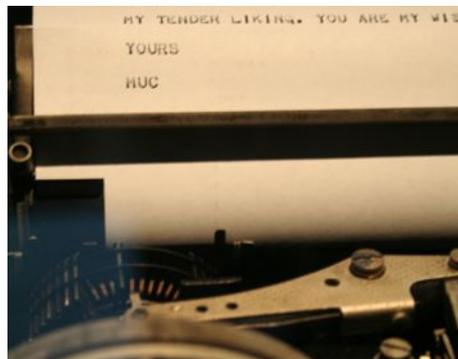
「art and collective intelligence」

参加作家：タレク・アトウィ、コンタクト・ゴンゾ、ハックデザイン+リサーチ、平川紀道、ダフィット・リンク、ムン・キョンウォン

日時：7月6日(土)～9月29日(日)〈火曜除く〉 10:00～19:00

会場：YCAMスタジオB、YCAM2階ギャラリーほか、
道場門前大駐車場屋上特設スペース(山口県山口市黄金町80)

料金：無料



ダフィット・リンク

「Printout of a love-letter, Love Letters_1.0」(2009)

SNSやwiki、Linuxなどに代表される、コンピューターとネットワークの結合によって知のあり方を著しく変革させてきた「集合知」をテーマに、今後、芸術表現が、社会・環境・思想・コミュニケーションのあり方とどのように関わり、そしてどのような変革が起こせるのかを考える展覧会です。

さまざまな知識や情報がインターネット上で組織化される歴史の変遷をたどりながら、アーティストによる作品の構想、生成プロセスや関係性の構築において「集合知」を前提として、アーティスト個人のビジョンだけでは完結しない作品の在り方を提示します。観客による鑑賞や振る舞いも展覧会全体の創造性に影響を与え、アーティストは他者や周囲の状況とプロセスを共有しながら、会期中も作品が更新されていきます。

◎ 関連展示

コレクティブ・インテリジェンス

「collective intelligence・リサーチ・プロジェクト」

リサーチ：江渡浩一郎

日時：7月6日(土)～9月29日(日)〈火曜除く〉 10:00～19:00

会場：YCAM1階ギャラリー

料金：無料

「ニコニコ動画」研究で知られるメディアアーティスト・研究者、江渡浩一郎が歴史的な視点から「集合知」を捉え直し、実例を紹介します。

「EAVP2013：エコ・アート・ビレッジ・プロジェクト2013

——断片としてのエコ・アート・ビレッジの提案——

出展作家：中野良寿、ノーヴァヤ・リューストラ、その他関連アーティスト、研究者など

日時：7月6日(土)～9月29日(日)〈火曜除く〉 14:00～18:00(平日)、13:00～18:00(土・日・祝日)

会場：山口市旧店舗(山口県山口市駅通り1-7-7)

料金：無料

美術家・中野良寿がかつて滞在していた、有機農業・酪農、アートセラピーなどを特徴とするエコビレッジ・コミュニティを、アートの視点から創り出すことを目的とした展示を開催します。

◎ 関連イベント

アーティストトーク

日時：7月7日(日) 13:00～15:30

会場：YCAMスタジオA

料金：無料

国際グループ展「art and collective intelligence」参加作家によるアーティストトークを展覧会のオープニングにあわせ開催します。

オープンフレームワークス

openFrameworks デベロッパーカンファレンス2013

日時：8月7日(水)～14日(水)〈火曜除く〉 時間未定

会場：YCAM 館内

多数のプログラマーが、開発・アップデートに関わってきた「集合知」の実践例として「openFrameworks デベロッパーカンファレンス」を開催します。openFrameworksコミュニティの主だったメンバーに加え、日本を拠点とする開発者が参加し、openFrameworksのアップデートへ向けた開発をおこないます。

※参加方法や詳細は、5月末に発表

作品展示 / インスタレーション

坂本龍一 + YCAM InterLab

フォレスト・シンフォニー

「Forest Symphony」

日時：7月26日(金)～12月1日(日)〈火曜除く〉

10:00～19:00

会場：YCAMホワイエ

料金：無料

※ 10月22日(火)は閉館

※ 展示会場はオープンスペースとなっているため、他イベント開催時は、作品を体験することができない時間帯があります。



山口市中央公園

森林や樹木に深い興味を抱いてきた坂本龍一が、東日本大震災以降、その関心を具体的な芸術表現として示したのが「Forest Symphony」プロジェクトです。森林を始めとした人類が生きる環境に目を向けることを意図してつくられたこの「Forest Symphony」を、YCAM InterLabとのコラボレーションにより、さらに発展させます。

樹木から流れる生体電位を取得し、そのデータがある一定のルールに従って音楽に変換。YCAMでは、インスタレーションとして展示するほか、世界各地の森からデータを集めることを目的として、樹木から電位を取得するためのツールキットを、オープンソースとして公開します。

作品展示 / インスタレーション

坂本龍一 + 高谷史郎

「LIFE - fluid, invisible, inaudible...」

日時：11月1日(金)～2014年3月2日(日)〈火曜除く〉 10:00～19:00

会場：YCAMスタジオA

料金：無料



「LIFE - fluid, invisible, inaudible...」(2007)

2007年にYCAMで発表し国内外各地を巡回してきた本作は、暗闇に浮かぶ9つの水槽の中で充滿する霧に映し出される映像と、水槽と対をなすスピーカーから発せられる音によって、見えるものと見えないもの、聴こえるものと聴こえないもの間にある界面へ私たちの意識を導く作品です。10周年記念祭では、この作品が持つシステムをそのままに、新たなシーンが追加された新バージョンを初公開します。同時公開の新作インスタレーションと見比べることで、時代の推移や環境に対する慧眼を読み解くことができるような作品を展開します。

作品展示 / インスタレーション

坂本龍一 + 高谷史郎

新作インスタレーション

日時：11月1日(金)～2014年3月2日(日)〈火曜除く〉 10:00～19:00

会場：YCAMスタジオB

料金：無料



滞在制作の様子

10周年記念祭のテーマである〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉から、私たちの日常にとって身近なものであり、そして地球の大部分を覆うものでもある「水」と「水滴」に着目したインスタレーションを、坂本龍一と高谷史郎の2人による新作として発表します。

舞台芸術作品の公演、身体表現プロジェクト

インスタレーション / パフォーマンス作品

ハイナー・ゲッベルス シュティフターズ・ディンゲ 「Stifters Dinge」

日時：7月13日(土) 19:00開演、14日(日) 14:00開演、19:00開演、15日(月・祝) 14:00開演

会場：YCAMスタジオA

料金：全席指定

前売 一般 4,000円、any 会員・特別割引 3,500円、25歳以下 3,300円

当日 4,500円

チケット発売日：any 会員先行予約 5月4日(土)、一般発売 5月11日(土)

※ 未就学児入場不可

※ 演出の都合により、開演時間に遅れますとお席にご案内できない場合がございます。予めご了承ください。



Photo and copyright: MARIO DEL CURTO

10周年記念祭と通底するテーマを持つ作品として、現代を代表する作曲家・演出家ハイナー・ゲッベルスの「Stifters Dinge」を招聘します。俳優が登場しない本作の主演は、光、音、声、霧、風、水、氷、絵画、そして積み上げられた5台のピアノであり、これらの事物(Dinge)たちが、人の手や機械によって制御され、変化を遂げていくことでパフォーマンスが進行します。19世紀の作家アーダルベルト・シュティフターから刺激を受けたこの作品では、観客はシュティフターの小説の読者のように、目の前に広がる人工的な〈自然〉が奏でる音に耳を澄まし、時間をかけてその細部にまで目を凝らすことで、自然に対する人間の営みについての問いを体感します。

◎ 関連イベント

プレレクチャー

講師：新野守広(ドイツ演劇批評)

日時：7月13日(土) 15:00～17:00

会場：YCAMスタジオC

料金：無料(要申込、先着順)

※ 未就学児入場不可

※ 公演チケット購入の際に要申込

※ 参加をご希望の方は、電話または窓口にて、ご予約ください。

※ 公演チケットをお持ちでない方は、当日残席がある場合に限り入場可

10周年記念祭オープニングトーク

「坂本龍一+ハイナー・ゲッベルス〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉」

出演：坂本龍一、ハイナー・ゲッベルス

日時：7月14日(日) 15:45～17:00

会場：YCAMスタジオA

料金：無料(要申込、先着順)

※ 未就学児入場不可

※ 日英逐次通訳あり

※ 公演チケット購入の際に要申込

※ 参加をご希望の方は、電話または窓口にて、ご予約ください。

※ 公演チケットをお持ちでない方は、当日残席がある場合に限り入場可

「Stifters Dinge」から広がる2人のアーティストによるダイアログ。これからの私たちが生きる環境やアートの姿など、未来へのヴィジョンを交換します。

参加型ツアーパフォーマンス

contact Gonzo+YCAM 参加型アウトドア・プロジェクト

「hey you, ask the animals. / テリトリー、気配、そして動作についての考察」

日時：8月24日(土)～26日(月)

各日 15:30 YCAM 集合

会場：元山口県 21世紀の森

(山口県山口市宮野上139-6)

料金：3,000円(要申込、先着順)

定員：各回25名

対象年齢：中学生以上

申込受付開始：6月29日(土)



「hey you, ask the animals. / テリトリー、気配、そして動作についての考察」参考イメージ

「痛みの哲学 接触の技法」を謳うアーティスト・contact Gonzo(コンタクト・ゴンゾ)とYCAMが提案する参加型アウトドアツアー。山口市内の山間部を縦横無尽にめぐるフィジカルな経験(=身体)に加え、映像など参加者の身体データを共有するシステム(=メディア)を用いて、自分の周りの環境との新しい接し方を発見・提案します。キーワードは「ケモノ道=トレイル」。動物と人が自然の中に通り道や住処を形作る行為をcontact Gonzoと探求していきます。

演劇 / パフォーマンス

能楽コラボレーション

野村萬齋+坂本龍一+高谷史郎「LIFE - WELL」

演出・構成：野村萬齋、坂本龍一、高谷史郎

出演：野村萬齋、梅若紀彰、一噌隆之、大倉源次郎、亀井広忠、小寺真佐人ほか
坂本龍一

日時：10月22日(火) 14:00開演 / 19:00開演(2回公演)

会場：YCAMスタジオA

料金：全席指定

前売 一般 7,000円、any 会員 / 特別割引 6,500円、25歳以下 6,300円

当日 7,500円

チケット発売日：any 会員先行予約 8月31日(土)、一般発売 9月7日(土)



野田神社能楽堂

坂本龍一と高谷史郎によるインスタレーション「LIFE-fluid,invisible,inaudible…」の新バージョンが設置された空間で、野村萬齋をはじめとする現代能楽界の担い手たちと、坂本龍一+高谷史郎のコラボレーションによる舞台公演を開催します。テーマは、能楽から影響を受けたアイルランドの詩人・劇作家W.B. イエーツと坂本龍一が発表する作品の世界観に通底する「水」と「樹」。古典作品の上演や、実験的即興音楽と古典芸能、映像とのセッションを通じて、古代から現代を背景に、自然と文明の関わりから生まれる新たなアートの姿が浮かび上がります。

※「LIFE-WELL」をご観劇の皆様のために、YCAMは10月22日(火) 特別開館します。

◎ 関連展示

「LIFE - WELL」インスタレーション

音楽：坂本龍一

総合演出：高谷史郎

日時：10月20日(日)～22日(火)、26日(土)、27日(日)、11月1日(金)～4日(月・祝) 時間未定

会場：野田神社能楽堂境内 (山口県山口市天花1丁目1-2)

料金：無料



野田神社能楽堂境内

野外舞台の貴重な保存例である山口市・野田神社能楽堂。その境内で、上演とテーマを共有するインスタレーションを展示します。伝統文化の歴史を今に伝える空間に幻想的な世界が広がります。

国際コンペティションと街中での展示

作品展示 / コンペティション

YCAM10周年記念祭公募企画

「LIFE by MEDIA

メディアによるこれからの生き方／暮らし方の提案」

日時：7月6日(土)～9月1日(日) / 11月1日(金)～12月1日(日) 10:00～19:00(火曜除く)

会場：山口市中心商店街

料金：無料



シェア、ノマド、モバイルハウスなど、近年変わりつつある「生き方」や「暮らし方」。そしてこれからますますメディアが生活に溶け込むなかで、〈ライフ〉の未来はどのようなかたちを描くのでしょうか。このテーマを元にプランを募集し、厳正なる審査を通過した受賞作品を市内各所で展示します。震災をきっかけに、身の回りの情報を摂取し編集する能力に、飛躍的な格差や多様性が生まれました。それは私たちがどこに身を置いて生きるかという問題と、地域社会との関係づくりを問い直すきっかけとなったとも言えます。その時、「メディア」や「情報」といった考え方はどのように地域社会を更新できるのか。そういった問いに対する継続的なプラットフォームとなるようなアイデアを紹介します。

※ 作品の募集は終了しました。

審査員：坂本龍一(音楽家)、青木淳(建築家)、江渡浩一郎(メディアアーティスト)、津村耕佑(FINAL HOMEディレクター)、山崎亮(コミュニティデザイナー)、兼松佳宏(greenz編集長)

受賞・展示作品

西尾美也「PUBROBE (パブプローブ)」

「PUBROBE」は、個人の服飾品を持ち寄って、誰もが利用可能な公共の衣装ダンスを作りだす、ナイロビのマーケットから着想を得たプロジェクトです。服飾品のレンタルだけでなく、洗濯やお直し、陳列替えのワークショップも行われ、「服飾品」というメディアを通じた活気あるコミュニケーションを目指します。



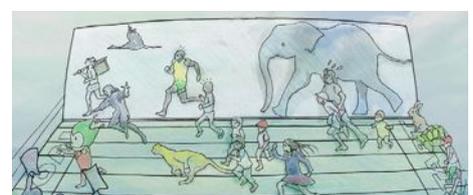
深澤孝史「とくいの銀行 山口」

「とくいの銀行 山口」は地域住民の「とくいなこと」を無形の財産としてあつまり、貯めていきます。「とくい」をあずけた人は、銀行があずかっている誰かの「とくい」をどれでも引き出す(=つかう)ことができます。このようにお金の代わりに「とくい」を運用する銀行を立ち上げ、「とくい」をもとにさまざまな企画を立てながら運営するプロジェクトです。



犬飼博士+安藤僚子「スポーツタイムマシン」

「スポーツタイムマシン」は、スクリーンに映し出される昔の記録と実際に「かけっこ」ができる装置です。自分の記録だけではなく、家族や友達、動物の記録に挑戦することができます。毎回記録は記憶され更新されてゆきます。この装置でスポーツを通して、過去・現在・未来を横断した継続的な身体コミュニケーションを提供します。このタイムマシンをみんなで作り、長い期間大切に運営していくプロジェクトです。



作品上映 / コンペティション

YCAM10周年記念祭公募企画

「架空の映画音楽の為の映像コンペティション」

受賞・展示作品：7月発表予定

日時：7月6日(土)～12月1日(日) 11:30～18:00

会場：FRANK(山口県山口市道場門前2-4-19 2F)

料金：無料



映画とともにあり、その演出に効果的に同期していく映画音楽が存在する一方、「実在しない架空の映画」の為に作曲された映画音楽が存在します。実在しない映画の為に音楽家があるイメージを持って作曲した音楽に映像をつけられるとすれば、どのような作品が出来上がるのか。「架空の映画音楽のための映像コンペティション」では、「架空の映画の為に作曲された映画音楽」の作曲を三輪眞弘、上野耕路、青葉市子の3人の作曲家に委嘱し、その音楽から想像される映像や映画を募集しました。厳正な審査を通過した作品をYCAMや市内各所で上映します。

※ 作品の募集は終了しました。

審査員：坂本龍一(音楽家)、樋口泰人(boid 主宰/映画批評)、岡本美津子(プロデューサー/東京藝術大学映像研究科アニメーション専攻教授)、辻川幸一郎(映像作家)、真利子哲也(映画監督)、阿部一直(山口情報芸術センター [YCAM] 副館長/チーフキュレーター)

また、本コンペティションのために作曲された曲をもとに、3名の気鋭の映画監督を招聘し、新たに映像作品を制作、コンペティションの受賞作品とともに、市内各所やYCAMで上映します。

招聘作家：瀬田なつき、真利子哲也、三宅晶

◎ 関連展示

瀬田なつき「5windows」

会場：一の坂川周辺の公共スペース

料金：無料



瀬田なつき「5windows」©5windows

「架空の映画音楽の為の映像コンペティション」に招聘作家として参加する瀬田なつきが監督した、横浜・黄金町を舞台とした5つの短編作品。そのうち4つの物語は様々な場所の屋外で上映され、最後にそれらが重なり合ったひとつの物語を映画館で観るというものです。今回YCAMでは、本作の新たな試みとして山口市の中央部を流れる、一の坂川周辺のカフェや店舗などのスペースで本作を展示します。山口の小さな川を背景にモニターに映し出されていく横浜の風景が、現実の時間と場所を超えた不思議な空間と新たな物語を創り出します。

※ 詳細は6月に発表

作品展示 / インスタレーション / ライブ

「YCAMDOMMUNE」

期間：7月6日(土)～9月1日(日) / 11月1日(金)～12月1日(日)〈火曜除く〉

時間：月・水・木 13:00～23:00

金・土・日・祝 12:00～24:00

会場：DOMMUNEビル(山口県山口市道場門前1-2-31)

料金：無料



「YCAMDOMMUNE」ロゴ

2010年3月のスタート以来、多彩なトーク番組とライブパフォーマンスを全世界へ発信し続け、世界中から多くの視聴者数を獲得しつづける宇川直宏率いるライブストリーミングスタジオ、DOMMUNEが、YCAMとタッグを組み、街中に「YCAMDOMMUNE」と称した拠点を展開します。2010年代以降のメディア環境の変化を象徴し、私達のライフスタイルに大きな影響を与えるインターネット配信サービスの数々と、国際グループ展のテーマに掲げられる「集合知」や、それらを読み解くためのキーワードとしての「アーカイブ」に呼応し、人々が集う新しい拠点が街の中に登場します。

インターネット上のみで配信され続けてきた、DOMMUNEの過去の膨大なアーカイブコンテンツを上映する唯一の場所として存在させることで、インターネット時代以降の場所性を改めて捉え直す、人々が集う街中の新しいスポットとなります。

◎ 関連イベント

宇川直宏「YCAMDOMMUNELIVE」

日時：7月27日(土) 20:00開演 / 23:00終了予定

会場：YCAMスタジオA

料金：全席自由

前売 一般 5,000円、any会員・特別割引・25歳以下 4,300円

当日 5,500円

「THE OPENING LIVE CONCERT」とのセット券2日間通し券

前売 一般 10,000円、any会員・特別割引・25歳以下 8,500円

チケット発売日：any会員先行予約 6月1日(土)、一般発売 6月9日(日)

※ 未就学児入場不可

街中でのYCAMDOMMUNE開催にあわせ、YCAM10周年記念祭THE OPENING LIVE CONCERTの翌日に、宇川直宏ディレクションによるライブイベントを開催。世界トップクラスの音響設備を誇るYCAMから、一夜限りの特別なYCAMDOMMUNELIVEを開催します。

※ 出演者詳細は、5月末に発表

映画上映と上映イベント

映画上映

特集上映

「音楽家が選ぶ、音楽映画」

期間：7月17日(水)～22日(月)、11月8日(金)～18日(月)〈11月12日(火)は除く〉 時間未定

会場：YCAMスタジオC

料金：全席自由

一般 1,000円、any会員・25歳以下・特別割引 500円

[回数券] (3回)

一般 2,500円、any会員/25歳以下/特別割引 1,300円



溝口健二「雨月物語」©角川映画

音楽家・坂本龍一が音と音楽に焦点をあてて選定した映画を特集上映します。ジャン＝リュック・ゴダール「映画史」や溝口健二「雨月物語」、アンドレイ・タルコフスキー「ノスタルジア」など、20作品以上を上映予定。また期間中、岸野雄一による映画音楽に関するレクチャーも開催します。

◎ 関連イベント

レクチャー

講師：岸野雄一

日時：7月20日(土) 14:00～17:00「雨月物語」、11月16日(土) 14:00～17:00「怪談」

会場：YCAMスタジオC

料金：無料(先着順)

上映イベント

YCAMオールナイト上映

「変態(メタモルフォーゼ)アニメーション・オールナイト」

監修：土居伸彰、CALF

MC：水江未来、土居伸彰

日時：7月27日(土) 23:30開場 / 23:55開演

会場：YCAMスタジオC

料金：全席自由

前売 一般 2,000円

any会員/25歳以下/特別割引 1,500円

当日 2,500円

チケット発売日：6月1日(土)

※ イベント時間中、託児サービスはありません

※ 18歳以下入場不可

※ 25時以降入場不可



ヨニ・マンニスト「群れ」(2011)

映画文化の1つとして、古くから多くの映画ファンに愛される深夜から早朝にかけ映画を鑑賞するオールナイト上映をYCAMで初開催。2012年に全国数ヶ所で開催され大きな話題を集めた「変態(メタモルフォーゼ)アニメーションオールナイト」を、水江未来(アニメーション作家)と土居伸彰(アニメーション研究・批評)の解説とともに上映します。

上映イベント

「真夏の夜の星空上映会」

日時：8月9日(金)～11日(日) 各日19:30開始

会場：山口市中央公園 (雨天の場合、YCAMスタジオC)

料金：無料



「真夏の夜の星空上映会」の様子

YCAMの夏の恒例行事「真夏の夜の星空上映会」では、すっかり涼しくなった夕暮れ時にお友達、ご家族と共に、芝生でゆったりとお楽しみいただける映画を上映するほかに、10周年を記念して開催する「架空の映画音楽の為に映像コンペティション」受賞作品を一挙上映します。

上映イベント

「YCAM 爆音上映会」

日時：8月23日(金)～25日(日) 上映時間未定

会場：YCAMスタジオA

料金：全席自由

一般 1,300円、any会員・25歳以下・特別割引 800円

[回数券(3回)]

一般 3,000円、any会員・25歳以下・特別割引 2,100円



アピチャップン・ウィーラセタクン「ブンミおじさんの森」
©Kick the Machine Films

映画評論家／boid主宰の樋口泰人氏が、吉祥寺パウスシアターを拠点に全国各所で開催している「爆音映画祭」がYCAM初登場。音楽ライブ用の音響セッティングを使い、大音響の中で映画を視聴する「爆音映画祭」では、映画を大音量で観ることによりその映画における音の核心はどこにあるのかを追求していきます。また、演奏家の解釈によって、歴史上何度も上映され続けている無声映画に音楽がつけられる上映+即興演奏会を併せて開催します。

※ 上映+即興演奏会の詳細は5月末発表

国際シンポジウム、YCAMオリジナルイベント

ライブ

YCAM10周年記念祭

「THE OPENING LIVE CONCERT」

出演：坂本龍一、上野耕路、テイラー・デュプリー、ILLUHA

日時：7月26日(金) 18:30開場 / 19:00開演

会場：YCAMスタジオA

料金：全席指定

前売 一般 6,000円、any 会員・25歳以下・特別割引 5,300円

当日 6,500円

宇川直宏「YCAMDOMMUNELIVE」との2日間通し券

前売 一般：10,000円、any 会員・特別割引・25歳以下：8,500円

チケット発売日：any 会員先行予約：6月1日(土) 一般発売：6月9日(日)

※ 未就学児入場不可

YCAM10周年祭のアーティストック・ディレクター坂本龍一を中心に、架空の映画音楽の為に映像コンペティションへの楽曲提供をおこなった上野耕路、その他、豪華メンバーらによるYCAM10周年を記念し開催されるライブイベント。

イベント

「Yamaguchi Mini Maker Faire」

日時：8月10日(土) 12:00～18:00、11日(日) 10:00～18:00

会場：YCAMスタジオA、山口市中央公園

料金：無料



「Maker Faire Tokyo 2012」の様子
(2012年12月 / 会場：日本科学未来館)
提供：オライリー・ジャパン 撮影：ただ(ゆかい)

Maker Faireは、ものづくりをおこなう個人、機関、企業における「作り手」の発表と交流の場として、技術を使った斬新なアイデア、ノウハウを共有するだけでなく、ものづくりの素晴らしさや楽しさ、創造性を、大人から子どもまで気軽に体感でき、楽しめるイベントです。西日本初となる山口開催では、YCAMで展開する教育普及プログラムとの連携により、幅広い年齢層の創造性に富んだものづくりへの参加を盛り上げます。

イベント

国際シンポジウム

「Localizing Media Practice — 地域化するアートの未来」

スピーカー：ヴェンザー・クライスト (HONF ファウンデーションディレクター／インドネシア)、

スージー・スレイマン (DA+C Festival プロデューサー／マレーシア)、

会田大也 (山口情報芸術センター [YCAM] エducーター) ほか

モデレーター：阿部一直 (山口情報芸術センター [YCAM] 副館長／チーフキュレーター)

日時：12月1日(日) 14:00 開始

会場：YCAM ホワイエ

料金：無料 (要申込、先着順)

申込受付開始：11月4日(月・祝)

定員：200名

※ 日英逐次通訳あり



シンポジウムの様子

YCAMが開館してから10年間、社会のなかでアートの位置づけが大きく変わり、アート活動を通じて未来へつながる展望を切り拓いていく意義が大きくなってきました。それらの背景のもと、アートセンターの役割は、地域の特性を反映しながら、より特異に、複雑になってきています。

このシンポジウムでは、アートの役割をもう一度捉え直すため、アジアの比較的新しい拠点を中心に、アートの実践を通じて、地域を活性化する事例を紹介します。

その他

展示

YCAM ARCHIVES EXHIBITION

日時：2013年4月20日(土)～6月16日(日) 10:00～19:00(火曜除く)

会場：YCAMホワイエ

料金：無料



会場風景(空間デザイン：スキーマ建築計画)

進化するアートセンターとして、YCAMが2003年の開館以降取り組んでいる創造的実践の数々を紹介します。YCAMというプラットフォームを通して、様々な表現領域にメディアテクノロジーが介入することで生み出された芸術表現が、当時どのような意味を持ち、現在どう捉えることができるのか。「メディア」の特性をYCAMの活動の軌跡とあわせて読み解くためのアーカイブ展示です。

4 スケジュール



	第1期 7月6日(土)～9月1日(日)				第2期 11月1日(金)～12月1日(日)							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
YCAM ARCHIVES EXHIBITION	●	●		●	●	●	●	●	●			
国際グループ展「art and collective intelligence」				●	●	●	●	●	●	●		
LIFE by MEDIA 国際コンペティション —メディアによるこれからの生き方・暮らし方の提案				●	●			●	●	●	●	●
「架空の映画音楽の為に映像コンペティション」				●	●	●	●	●	●	●	●	●
「YCAMDOMMUNE」				●	●			●	●	●	●	●
ハイナー・ゲッベルス「Stifters Dinge」				●	●	●						
特集上映「音楽家が選ぶ、音楽映画」				●	●			●	●	●	●	●
「YCAMサマースクール」				●	●	●				●	●	●
子どもたちが創造する屋外メディア公園 「コロガルパビリオン」				●	●	●	●	●	●	●	●	●
坂本龍一+YCAM InterLab「Forest Symphony」				●	●	●	●	●	●	●	●	●
「THE OPENING LIVE CONCERT」				●	●							
「YCAMDOMMUNELIVE」				●	●							
YCAMオールナイト上映「変態アニメーション・オールナイト」				●	●							
「真夏の夜の星空上映会」					●	●	●					
「Yamaguchi Mini Maker Fare」					●	●						
「YCAM爆音上映会」					●	●	●	●	●			
contact Gonzo+YCAM 参加型アウトドア・プロジェクト 「hey you, ask the animals./テリトリー、気配、そして動作についての考察」					●	●	●	●	●			
能楽コラボレーション 野村萬斎+坂本龍一+高谷史郎「LIFE - WELL」								●	●			
坂本龍一+高谷史郎 「LIFE - fluid, invisible, inaudible...」								●	●	●	●	●
坂本龍一+高谷史郎 新作インスタレーション								●	●	●	●	●
「walking around surround」インスタレーション								●	●	●	●	●
国際シンポジウム 「Localizing Media Practice — 地域化するアートの未来」									●	●	●	●

- スケジュールは都合により変更の可能性があります。
- 各プロジェクトの詳細は、YCAM10周年記念祭ウェブサイトにて順次発表していきます。
- YCAM10周年記念祭の各プロジェクトの概要を掲載したYCAMガイドブックが美術出版社から発売される予定です。